

健康で心豊かに長生きをしましょう。

平成 29 年 11 月 29 日
村山 章

「高齢運転者に係る交通事故の現状（警察庁/2017 年）」によると、2015 年の死亡事故に占める 75 歳以上の高齢者の割合は 12.8%でこの 10 年間で 5%以上増えています。私事で恐縮ですが、私の父は現在 95 歳、今も車の運転をしています。心配ではありますが、やむをえないと腹を括っています。①オートマ車なんて乗せさせる訳がない、本人も乗れる訳がないと思い、おじいちゃん用の車としてずっとマニュアル車を中古で用意してきました。②必要なとき、たまに運転するのは大変危険と思いますが、本人は年間に車に乗らない日が 1 日か 2 日と言えるほど生活に密着しています。毎日運転しているので運転感覚は衰えず安全性も高いと思います。③友人の家、病院、コンビニ、スーパー、カラオケボックスなど、行く場所は決まっていますから、運転する道も同じです。以前は駅まで送ってもらった経験もありますが、近年は全くありません。これらが、父の運転をそのまま見守っている理由です。

母が他界して約 22 年になり、毎晩の夕飯は、弊社に長年勤務してくださったパートさんの家に食べさせてもらいに行っています。先日、その方の米寿のお祝いにお子さまたちと旅行に行かれた際のお土産をいただきました。その方もご高齢ですが、父の夕飯の支度をするのがご自身の生きがいにもなっているようです。その方には心から感謝をしております。同じカラオケサークルに所属していて一緒にカラオケも楽しんでいるようです。

父は雨の日以外は、夜明けを待って 40 分ほど杖をついて歩いています。薬は何種類か飲んでいますが元気です。認知症の症状は全くありません。車を運転することによって、友人の家に行き、病院にも一人で行き、家に籠ることは全くありません。車の運転が健康寿命を伸ばすのに役立っているという現実にも大きな意味があると思います。難しい問題ですが、現時点で免許証を取りあげることにはできません。